

とちぎの子ども育成憲章の説明

憲章は、県民が心を一つにしてとちぎの子どもたちを育成していくために、大人が具体的に取り組む姿勢をわかりやすく示し、実行していただくためのものです。

前文には、子どもたちが将来の夢や希望を持ち、その実現に向け、心身ともにたくましく成長し豊かな人生を歩んでいけるようにとの願いを込めています。

そのため、県民みんなで子どもたちを育てていくという決意を表しました。

(前文) 明日を担う子どもたちが 夢と希望を持ち
心豊かでたくましく成長することは 県民すべての願いです
わたしたちは 子育てに積極的にかかわり
子どもたちをみんなで育てていく決意を込め ここに憲章を制定します

わたしたちは

1 子どもたち一人ひとりを尊重し 命を大切にします

「子どもは社会の宝」であり、大人は、子どもたち一人ひとりを尊重し、心身ともに健全に成長していくことを願い、最善の努力をしていこうとするものです。

子どもたちに「自分は大切な存在である」「自分の命も他の人の命も大切である」ということに気付いてほしい、というメッセージを込めています。

1 子どもたちとのかかわりを深め 思いやりの心をはぐくみます

子どもたちが、喜びや悲しみ、痛みをともに分かち合い、互いに支え合い思いやりのある心を持って成長していくように、大人が進んでかかわることの大切さを伝えようとするものです。

だれもが支えられて生きているのであり、一人では生きられないことに気付いてほしい、というメッセージを込めています。

1 子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい 社会の一員としての自覚を育てます

大人は、子どもたちとともに学び、喜びを分かち合い、励まし合いながら、子どもたちが切磋琢磨し、困難を乗り越えていく力を養っていくことの大切さを伝えようとするものです。

子どもたちに、社会の一員として自覚した人に成長してほしい、というメッセージを込めています。

1 一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します

子どもたちは、絶えず大人の姿を見ながら成長していることから、家庭、学校、職場、地域などにおいて、大人が子どもたちの手本となる責任ある行動や態度を示すことの大切さを伝えようとするものです。

子どもたちに、成長過程において大人になることへの自覚を促していく、というメッセージを込めています。

1 とちぎの豊かな自然 伝統 文化を守り 子どもたちに引き継ぎます

先人が幾多の苦労を重ね、守り育ててきた郷土の自然、伝統、文化などから、私たちは生きる知恵を学び、人間性を豊かにして生活しています。

とちぎの未来を担う子どもたちに、豊かな自然、受け継がれてきた故郷の伝統や文化を継承していく、というメッセージを込めています。